

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	2177	
平成18年度部名	市民部	課名	市民相談課	課長名	小野 栄治	
平成19年度部名	市民活力推進部	課名	市民相談課	課長名	小野 栄治	
事務事業名	こども議会事業					
予算上の事務事業名	こども議会					
1 総合計画における位置づけ	施策コード			17110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第7章 個性豊かなコミュニティづくりを進めます					
基本施策名	第1節 市民主体のまちづくり					
施策名	第1施策 個性豊かな地域づくり					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市広報広聴規則					
3 個別計画の概要	概要					
計画名	なし					
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント			5 事業開始年度	平成11年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)						(2) 対象(誰、何)
相模原市の都市像「輝きと愛があふれる人間都市さがみはら」の実現に向け、未来の自分たちの住むまちへの希望や期待などについての発言の場である「こども議会」を開催し、市政に対する関心と理解を深めてもらうことを目的とする。						市内の小・中学生
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
日時	平成18年11月11日(土) 午前9時から午後1時まで					
場所	相模原市議会議場					
出席者等	こども議員 37人(議長1人、議員36人)					
	市 市長、両助役、収入役、教育長、市民部長、市民部次長、議会事務局長、学校教育部長(議長補佐)					
	市議会 市議会議長、市議会副議長					
	傍聴者 保護者等41人、中学校関係者7人					
内容	テーマ1「相模原PR大作戦」、テーマ2「うるおいのあるまちづくりについて」、テーマ3「フリーテーマ」、議定議案第1号「いじめについての緊急アピール」					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移	[単位:千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	109	141	147	176	176	
一般財源	109	141	147	176	176	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	496	14	492	492	492	
事業コスト合計	605	155	639	668	668	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	こども議会事業			対象名称 と単位	会議回数(回)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	605	155	639	668	668	
対象数	1	0	1	1	1	
単位あたり経費(円)	605,000	#DIV/0!	639,000	668,000	668,000	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.05	1.00	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	実施回数（回）	指標式と指標の説明		実施回数÷計画回数×100	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	1.0	0.0	1.0		
目標	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
目標達成度（%）	100.0	0.0	100.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	出席者人数（人）	指標式と指標の説明		出席者人数÷出席予定人数×100	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	29.0	0.0	37.0		
目標	29.0	35.0	37.0	40.0	40.0
目標達成度（%）	100.0	0.0	100.0		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
〔 〕：良好な状態を維持する事業					
〔 〕：概ね良好な状況である事業					
〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		常に対象者やテーマについて見直しを行いながら、こどもの市政に対する理解を深めるとともに、議会制度への関心を高める場として継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
平成18年度に子ども議会終了後、発言時間等についてのアンケートを配付し、結果測定を行った。その測定結果に基づき、平成19年度の見直しを行った。			再質問を希望する生徒が多くいたことから、対象者や人数について、見直しをする必要があった。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			